

## 医療法人社団優惠会特定認定再生医療等委員会 議事録

### 1. 開催日時・場所

日時：2022年2月18日（金） 20：00～20：15

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MY ビル 4F 医療法人社団優惠会及び Web

### 2. 出席者

漆畑委員（医学・医療 1）、廣瀬委員（医学・医療 1）、矢澤委員（医学・医療 2）、住江委員（一般）、井花委員（法律・生命倫理）、相羽委員（法律・生命倫理）、井上委員（一般）、山崎委員（一般）、藤田委員（一般）

### 3. 技術専門員

漆畑 修

### 4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称

ナグモクリニック銀座

### 5. 再生医療等の名称

多血小板血漿を用いた皮膚再生治療

### 6. 提供計画の受領日

2022年1月15日

### 7. 審議内容

廣瀬：ナグモクリニック銀座から、多血小板血漿を用いた皮膚再生治療の申請となります。ナグモクリニック銀座の院長の南雲先生の経歴から紹介させていただきます。

医療法人社団ナグモ会ナグモクリニックの理事長・総院長であります、南雲吉則先生ですが、昭和 56 年東京慈恵会医科大学卒業、昭和 58 年東京女子医科大学形成外科研修、東京慈恵会医科大学の外科を経て、平成 2 年に医療法人社団ナグモ会理事長・ナグモクリニック総院長に就任されました。その後、令和 3 年 11 月にナグモクリニック銀座の院長に就任され、現在に至ります。資格・免許等は医学博士、日本乳癌学会乳腺専門医、日本外科学会外科専門医、日本乳癌学会指導医をお持ちです。

それでは南雲先生の代理で井上肇先生からご説明をお願い致します。

井上肇：多血小板血漿を用いた皮膚再生治療、こちらは第三種の再生医療技術に該当致します。対象疾患の名称は加齢に伴う皮膚醜形の改善ということで、整容的に不満足を有するような醜形部分を対象とし、皺・たるみ・陥凹・薄毛等で治療範囲を

定義していますが、今回ナグモクリニック銀座で（行う治療）は主に男性の薄毛等に対し、生え際に PRP の投与を行い、発毛ではなく育毛をはかるという治療を計画しています。これは防衛医科大学で既に臨床研究がされていて、有効性が認められている技術です。（治療の）除外基準は、採血をしますので、貧血が著しい場合、または他の疾患の治療中で醜形治療よりも優先される治療がある場合、となります。用いる細胞は多血小板血漿です。多血小板血漿を 1 cm<sup>2</sup>あたり 0.1 ミリリットル程度の投与量として、血液 20~60 ミリリットルの採血量から 5~6 ミリリットルの PRP を京セラ製のコンデンシアというキットを用いて調製します。この技術(に)は（遠心分離機が必要なのですが）、現在新型コロナウイルスの蔓延に伴い、すべての物流が滞っていて、遠心分離機が納品されていないため、まだ厚生労働省へ細胞加工施設の届け出が完了しておりません。この届け出が受理されたのちに、関東信越厚生局に当該技術の届出をすることとなります。

廣瀬：他の先生方のご意見・ご質問はございますか。

薄毛の治療に用いるとのことですが、併用については如何ですか。単独で行われるのでしょうか。

井上肇：ミノキシジルやフィナステリドの投与を前提として行うクリニックが主体となっておりますが、そういった薬を使用したくない患者さんの割合が高く、フィナステリドを使うことによって男性機能の低下が起き、尚且つミノキシジルの投与で浮腫むという男性の患者さんがいますので、そういった患者さんに対する新たな治療法として PRP 療法を選んだという形になります。

廣瀬：評価はどのように行いますか。

井上肇：評価に関しましては、写真撮影で投与部位を施術前後で 3~6 か月程度の比較をします。

廣瀬：ありがとうございます。それでは技術専門員の漆畑先生、ご意見をお願い致します。

漆畑：この治療は昔から実施されている、確立された治療で、部位が頭部に対してということで特に問題は無いと思います。

廣瀬：ありがとうございます。他の先生方は補足のご意見はございますか。無いようですので、技術専門員の先生のご意見と委員会の見解を合わせて後日回答させていただきます。

井上肇：ありがとうございます。

委員会として、書類を技術専門員の漆畑先生、出席委員が確認し、適切と決した。

8. 結論

承認 9名

否認 0名

当委員会は、再生医療等提供計画が、再生医療等の安全性の確保等に関する法律及び施行規則に準拠した再生医療を提供するものと判断する。以上に鑑み、今回審査した計画について「承認」と判定する。

議事録作成：廣瀬